

富山市教育委員会 7 月定例会 資料

別 冊

富山市指定文化財の指定及び指定解除に係る諮問の件

【生涯学習課】

1 趣 旨

「神通川船橋常夜灯」について、富山市指定有形文化財の指定が妥当と判断されるため富山市文化財調査審議会に諮問するもの。

また、富山市指定天然記念物「葛原の大榎」について、市指定天然記念物の価値を失ったため、指定解除を諮問するもの。

2 富山市指定有形文化財の指定の諮問

(1) 内 容

種 別	名 称	員数	所 在 地	所有者
歴史資料	神通川船橋常夜灯	2 基一対	丸の内1丁目1-4地先 舟橋北町 4-18 の一部	不明 (富山市教育委員会管理)
	附 船橋鉄鎖	1 点	本丸 1-62 (郷土博物館)	富山市

(2) 諮問理由

神通川船橋常夜灯は、寛政11年(1799)、北陸街道に架かる神通川船橋(富山船橋)の両橋詰に、旅人の夜間の通行のため、また神通川の洪水や水難から町民を守る信仰的意図から、富山町町年寄内山権左衛門が2基一対として寄進したものとされている。

当該常夜灯は、今も当時の設置位置に近い場所に置かれており、当時の神通川の幅を示すものであることなどから、同じく現存する船橋鉄鎖とともに、神通川船橋の名残を残す貴重な資料として、その歴史的価値は極めて高い。

3 富山市指定天然記念物の指定解除の諮問

(1) 内 容

種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有者	指定年月日
天然記念物	葛原の大榎	1 本	葛原	葛原総代	昭和56年 7月22日

(2) 諮問理由

主幹の途中から太い枝が3本出て三つ又状になっている大樹だが、そのうち2本が枯死し、残りの1本もヤドリギの大量寄生による成長不良を起こしていた。枯死した枝の回復が難しく、枝折れした場合の危険性があるため、市文化財調査審議会委員及び樹木医による調査・助言のうえで令和8年5月8日に伐採し、市指定天然記念物の価値を失ったもの。

学校選択制について

次のとおり、施設面等を考慮して、令和9年度富山市立の各中学校・義務教育学校の入学可能な人数（受入枠）を設定します。

<入学希望者が受入枠総数を超えた場合>

- ① 通学区域内からの入学希望者を入学生とします。
- ② 抽選が免除される入学希望者（※1）を入学生とします。

上記、①②以外の通学区域外からの入学希望者を対象に、原則として抽選を実施します。

学校名	受入枠総数 (入学可能な人数)	通学区域外からの受入枠 (※2)
芝園中学校	99	10
堀川中学校	330	6
東部中学校	99	0
西部中学校	165	32
南部中学校	165	18
北部中学校	165	28
新庄中学校	231	14
岩瀬中学校	132	14
山室中学校	231	31
奥田中学校	198	9
大泉中学校	66	6
月岡中学校	66	25
呉羽中学校	165	6
和合中学校	99	14
興南中学校	132	24
藤ノ木中学校	198	22
大沢野中学校	165	27
上滝中学校	66	9
八尾中学校	165	21
速星中学校	264	1
城山中学校	99	18
楡原中学校	33	21
水橋学園	99	24

- ※1 抽選が免除される場合については、富山市立中学校・義務教育学校紹介の冊子を参考にしてください。
- ※2 通学区域外からの受け入れ結果については、入学希望校の申請状況や転出入等によって変動します。
- ※3 特別支援学級への入学希望者を対象に、入学希望校の申請状況や転出入等により、抽選を実施する場合があります。

令和８年度 富山市立中学校・義務教育学校
学校選択制による通学区域外からの入学希望者数及び入学者数

富山市教育委員会

中学校・ 義務教育学校名	受入枠総数 (A)	通学区域外からの 受入枠 (B)	通学区域外からの 入学希望者数 (C)	抽選実施 の有無	通学区域外からの 入学者数 (D)	入学者数
芝園中学校	132	19	23	－	17	128
堀川中学校	363	0	0	－	0	349
東部中学校	99	28	35	－	33	88
西部中学校	132	24	1	－	1	109
南部中学校	165	8	22	－	21	172
北部中学校	165	13	11	－	11	128
新庄中学校	231	0	0	－	0	210
岩瀬中学校	132	8	28	抽選実施	8	139
山室中学校	198	0	0	－	0	179
奥田中学校	198	12	31	－	31	206
大泉中学校	66	20	25	－	24	40
月岡中学校	66	20	3	－	3	44
呉羽中学校	165	1	2	－	2	163
和合中学校	99	24	4	－	4	71
興南中学校	99	0	0	－	0	86
藤ノ木中学校	198	9	0	－	1	170
大沢野中学校	165	14	1	－	1	145
上滝中学校	66	17	5	－	5	45
八尾中学校	132	21	6	－	6	111
速星中学校	330	18	8	－	8	305
城山中学校	99	13	3	－	2	77
山田中学校	21	15	0	－	0	0
楡原中学校	21	15	0	－	0	1
水橋学園	99	11	7	－	7	97
合計			215	1校	185	3,063

- ※ (A)～(D)の数値には、特別支援学級生徒は含みません。
- ※ (B)(C)(D)の数値には、抽選免除者は含みません。
- ※ 通学区域外からの入学希望者数(C)は、令和7年11月10日現在の数値です。
- ※ 通学区域外からの入学者数(D)は、転出入等によって変動しています。
- ※ 芝園中学校、東部中学校、南部中学校、奥田中学校、大泉中学校、呉羽中学校については、通学区域外からの入学希望者が通学区域外からの受入枠を上回っておりますが、受入枠総数に収まると見込まれましたので抽選を実施しませんでした。
- ※ 入学者数は、入学式当日の数値です。
- ※ 通学区域外からの入学者数は通常級のみ的人数です。

水橋学園スクールバスの事故後の対応について

[学校再編推進課]

[学 校 教 育 課]

6月24日に発生した水橋学園スクールバス踏切内停車事故を受けて、再発防止対策として、第2学期（8月27日）からの水橋学園スクールバスの運行ルートの見直し及びスクールバス等の運行に係る危機管理マニュアルの作成を進めております。

この見直し、作成にかかる予定については次のとおりです。

記

1 運行ルートの見直し

- ・スクールバスの試行運行を実施（7月27日～8月5日）
- ・保護者への変更ルート説明会の開催（8月10日）
- ・第2学期の始業から変更ルートによる運行を開始

2 スクールバス等の運行に係る危機管理マニュアルの作成

- ・「富山市スクールバス及び学校行事用バス運行に係る危機管理マニュアル」を作成
- ・各学校における「学校スクールバス・学校行事用バス危機管理マニュアル」を作成（2学期の運行開始までに）

AMAZING TOYAMA

企画展

「大富山市」建設をめざして



戦前の富山がめざした街の姿とは！

令和8年 7月18日 土 — 10月4日 日

明治22年（1889）市制の施行により、富山市が誕生しました。新たな街づくりが進められましたが、神通川の水害対策や街並みが城下町の構造を引きずったままであるなど、解決すべき課題は多くありました。

こうした課題に取り組む中で、大正時代中期になると、人々は都市の未来像を「大富山市」という言葉で表すようになりました。それを大きく前進させたのが、昭和3年（1928）に決定した都市計画事業です。神通川旧流路の埋め立てなど、街にダイナミックな変化をもたらしました。それと同時に、高山本線の全線開通、富山飛行場の開場など、「大富山市」建設は着実に進んでいったのです。そして、躍進する富山市を紹介するため、昭和11年（1936）に日満産業大博覧会が開催されたのでした。

本展では、大正から昭和戦前期にかけて、富山の人々の街づくりの目標となった「大富山市」について、富山市会の会議録をはじめとする、当時の人々の言葉とともに紹介します。

富山市郷土博物館
TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM



その他 1 1

さと美 — 陶磁器・染織品

東南アジア紀行

2026年 7月18日[土] — 9月27日[日] 休館日／7月21日(火)

開館時間／9:00～17:00 (入館受付 16:30 まで)

観覧料／大人 210 円 高校生以下無料

主催／富山市教育委員会 (富山市佐藤記念美術館)

富山市佐藤記念美術館

〒930-0081 富山市本丸1-33(富山城址公園内)

TEL. (076) 432-9031 FAX. (076) 432-9080



青花牡丹文盤 (部分) ベトナム 15 世紀 / 青磁刻花花文棧花盤 (部分) タイ 15 世紀 / 褐釉刻線文盤口瓶 (部分) クメール 12～13 世紀 / 白釉緑絵花文盤 (部分) ミャンマー 15～16 世紀

さと美 — 陶磁器・染織品

東南アジア紀行



腰巻
スラウエシ島（トラジャ族）



鉄絵草花三角文盤
タイ スコタイ 15世紀



灰釉褐彩象形壺
クメール 11～12世紀



青花花唐草文瓶
ベトナム 15世紀



腰巻（男性祭事用）
スンバ島（レンデ村）



腰衣
チモール島東部（ロスバロス村）

2026年 7月18日[土] — 9月27日[日]

やきものの生産は、世界各地でおこなわれてきました。東南アジアにおいてもフィリピンやインドネシアなどの島嶼部では、古くから土器などがつくられてきました。一方で、釉薬のかかった「施釉陶」は、中国陶磁の影響を受けながら、インドシナ半島のベトナムやタイ、ミャンマーなど大陸部のいくつかの地域でつくられています。伝統と恵み豊かな自然のもとで育まれたそれらのやきものは、素朴で温かな魅力であふれています。

本展では、1世紀から3世紀・12～16世紀頃までのベトナム、13～16世紀のタイ、9～13世紀のカンボジア（クメール）などの東南アジア陶器を紹介します。なかでもベトナムやタイの陶器は、海上交易を通じて東南アジア地域をはじめ広い範囲へ輸出され、日本にももたらされました。こうしたやきものの一部は、茶の湯において茶碗や花入、香合として取り上げられ、ベトナムの陶器は「安南」、タイの陶器は「宋明録」とよばれ親しまれてきました。同じように、インドネシアの染織品のなかにも、茶の湯の道具を包む袋として取り入れられたものがありました。陶芸や染織といった分野に限って見ても、東南アジアの工芸は、わが国の文化の中に深く息づいているといえるでしょう。

こうした東南アジア美術の魅力にふれながら、広大な地域を結んだ交易の広がりにも、想いを馳せていただければ幸いです。

休館日／7月21日（火）

開館時間／9：00～17：00（入館受付は16：30まで）

観覧料／大人 210円 高校生以下無料

◇学芸員による展示解説会

8/22（土）・9/19（土）いずれも14：00～

当館展示室にて ※申込不要、要観覧料

交通案内

富山駅下車 徒歩10分、市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分、
地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分、富山空港より連絡バスで20分、
北陸自動車道富山I.C.より車で15分
※駐車場はありません。最寄りの駐車場は城址公園地下駐車場（有料）となります。



富山市佐藤記念美術館

〒930-0081 富山市本丸 1-33
TEL.(076)432-9031 FAX.(076)432-9080